

エポマリンJW グレー・黒

EPOMARINE JW Gray・Black

一般名称	水道用液状エポキシ樹脂塗料												
適用規格	日本水道協会 JWWA K 135:2007												
系統	二液性溶剤形エポキシ樹脂系塗料 標準形												
主な用途	【タンク内面用】		など										
適用素材	<table border="1"><thead><tr><th>鉄</th><th>亜鉛めっき</th><th>アルミ</th><th>ステンレス</th><th>コンクリート</th></tr></thead><tbody><tr><td>○</td><td>×</td><td>×</td><td>○</td><td>×</td></tr></tbody></table>			鉄	亜鉛めっき	アルミ	ステンレス	コンクリート	○	×	×	○	×
鉄	亜鉛めっき	アルミ	ステンレス	コンクリート									
○	×	×	○	×									
特長	1)耐水性を必要とするタンク内面などに適する。2)強靱で堅く、耐摩耗性に優れている。3)厚膜形高性能防食塗料である。 4)上水に対して有害物の溶出がなく、日本水道協会 JWWA K 135:2007に規定する品質を満足する(認証取得済み) 適用規格について、JWWA K 135規格が2007年12月に改正されました。 ①JWWA K 135の認証を取得しているのは、グレー・黒の18kgセットのみです。 (グレー、黒の4kgセットおよびその他の色は認証を取得していませんので上水道施設に適用できません) ②使用上の注意事項の末尾★を参照下さい。												
塗料性状	塗料密度(比重)	1.30(グレー)											
	溶剤密度(比重)	0.85											
	加熱残分	65%(グレー)											
法令など		ベース	硬化剤										
劇物表示 (品名・含有率)		—	—										
労安法上の 表示有害物		キシレン、トルエン、 1-ブタノール、メタノール メチルイソブチルケトン エチルベンゼン	キシレン、1-ブタノール、 イソブチルアルコール、エチルベンゼン										
使用有機 溶剤種別		第2種有機溶剤等	第2種有機溶剤等										
消防法による 危険物区分		第1石油類(非水溶性)	第1石油類(非水溶性)										
硬化剤の成分 による区分		変性ポリアミドアミン (トリエチレンテトラミン変性物)											
ホルムアルデヒド 放散等級		—											
製品情報		ベース	硬化剤										
荷姿	18kgセット	15.75kg	2.25kg										
混合比(重量比)		ベース:硬化剤=7:1											
主な色(色相)	グレー・黒												
素地調整	○被塗面は十分乾燥させ、汚れ等の不純物の付着がなく、清浄であること。 ○水洗により塩分、水溶性汚染物質を除去する。適切な洗浄剤や溶剤で、油やグリースを除去する。 ○詳細は塗装仕様書を参照ください。												
使用方法	調合方法	ベースに対して硬化剤を所定の割合になるまで少しずつかき混ぜながら加えたのち 下記のシンナーを規定内で混入し、十分攪拌したのち使用する。											
	熟成時間	5~10℃の場合は10~15分間(10℃以上は不要)											
	使用シンナー	テクトEP JWシンナー											
	希釈率(重量比)	エアレス: 0~10wt% ハケ・ローラー: 0~5wt%											
	エアレススプレー 塗装条件	2次圧 10MPa(100kg/cm ²)以上 チップNo. 163T-619~623 (グラコ社製)											

エポマリンJW グレー・黒

EPOMARINE JW Gray・Black

使用量と膜厚

塗装方法	標準膜厚		標準使用量 注)
	Dry(μm)	Wet(μm)	
エアレススプレー塗り	100	225	470
ハケ・ローラー塗り	60	150	230

注)標準塗付量は、個々の条件によって異なります。

乾燥時間 塗装間隔 可使用時間

項目		5℃	10℃	20℃	30℃	40℃	
乾燥時間	指触	3時間	3時間	2時間	1時間	1時間	
	半硬化	48時間	48時間	16時間	12時間	12時間	
標準塗装間隔 注)	最短	48時間	48時間	16時間	16時間	16時間	
	最長	7日	7日	7日	7日	7日	
可使用時間		12時間	10時間	8時間	5時間	3時間	

注)上記数値は施工管理上の参考データです。規格に規定がある場合はそれを優先してください。

実施工においては塗膜異常がないことを確認したのちに、次工程塗装してください。下記の主な適用上塗塗料を塗り重ねる場合です。

作業禁止条件 気温 5℃以下、湿度(RH%)85以上

主な適用	強溶剤: SDジंकなど
下塗塗料	弱溶剤: — ハイソリット: — 水性: —
主な適用	強溶剤: エポマリンJW 標準形
上塗塗料	弱溶剤: — ハイソリット: — 水性: —

耐熱温度(大気バクロ環境) 弊社に問い合わせください。
(短時間とは、概ね1時間以内を目安としてください。)

施工管理	希釈率(wt%)	SVR(%)	WET/DRY係数
用特数値	0	46.5	2.2
	5	43.2	2.3
	10	40.3	2.5

【理論WET膜厚】=【目標膜厚】÷【SVR】 式または
【理論WET膜厚】=【目標膜厚】×【WET/DRY係数】式で
希釈率毎の管理WET膜厚が算出できます。
※SVR(Solid Volume Ratio)体積固形分であります。

安全情報 ○安全情報に関する詳細な内容はSDS(安全データシート)をご参照ください。
○容器に記載している「安全衛生上の注意事項」をご確認の上、ご使用ください。
○塗料が皮膚につくと人によってはカブレを起こすことがあるので、皮膚につかないように取り扱いください。

貯蔵条件 本製品は特に水分の影響を受けないように保管してください。
高温多湿環境・直射日光を避け、密閉した状態で冷暗所で保管ください。

使用上の注意事項 1)塗料取り扱い時、塗装中および養生中は換気を十分に行い、火気厳禁としてください。
2)被塗面の異物(研削材、ダスト、油脂汚れ、水分)や粉化物などは塗装前に除去してください。
3)素地調整はプラスト処理を推奨します。プラスト処理ができない場合は弊社にお問合せ下さい。
4)塗膜は十分に乾燥させてから上塗りしてください。乾燥が不足していると塗膜劣化(フクレ)の原因になります。
5)本塗料の適用は、原則として工場塗装です。工場出荷は通水後の水質、特に臭気を考慮して十分に乾燥して出荷してください。
6)塗料が皮膚につくと人によってはカブレをおこすことがあるので、皮膚につかないように取り扱いください。
本品の安全衛生上の取り扱いについては技術資料031「エポキシ樹脂塗料の使用上の注意」を参照してください。
7)塗料の取り扱いについての一般的な注意事項の詳細は、SDS(安全データシート)を参照してください。
★JWWA K 135規格が2007年12月に改正されました。改正理由は、上水への溶剤臭の影響を避けるために塗膜の乾燥養生が十分に取れる工場塗装での適用を原則としているためです。しかし、「水道施設の現場に本規格塗料の塗装は、受渡当事者間で合意を得れば、塗装できる」とあります。
※現場塗装される場合は、「通水後の水質、臭気に関して受渡当事者間で合意を得てください」。
8)JWWA K 135の規定による記載項目
理論塗付量: 280g/㎡(Dry100μmの場合)、塗装時及び塗膜硬化促進時の加熱温度範囲:設定なし(常温で使用する塗料のため)